

## 看護系大学において助産師教育を行う利点(1)

- 大学4年間で助産師資格が取れることは、看護系大学に志願者を引きつける大きな魅力になっている
- 看護師だけにとらわれない、幅の広い職業選択が可能となる
- 学士(看護学)をもった助産師が毎年約700名(養成数全体の約43%)確保。H18年の日本産婦人科医会緊急調査によると助産師充足率71.7%、助産師の不足数6,718名であるので、現在の助産師不足へ対応し、周産期看護領域の質確保につながる。
- 看護系大学が今以上に増える一方で、高校卒業者が減少することを考慮すると、医師、薬剤師、福祉系など、他の学問領域との間で志願者の奪い合いが起こることは必須。複数の資格が取れる魅力を残しておかないと、看護系大学志願者減少は否めない



## 看護系大学において助産師教育を行う利点(2)

- 学士課程で免許取得、助産師実務経験後に大学院で高度専門職業人(母性看護専門看護師)教育を受けるという助産師キャリアパスの維持・強化→助産師外来・院内助産の普及促進、母体・胎児集中治療室の看護など周産期看護の質向上につながる
- 学士卒の助産師が確保されていることは、看護系大学教育を担当できる、修士以上の学位をもった助産師の育成を促進する
- 学士・修士(看護学)をもった助産師が増加すれば、博士(看護学)の学位をもった助産師の育成も促進され、周産期看護の質向上のための教育研究の促進につながる

### 現在ある助産師のキャリアパス

